

ホームページ公開・研究対象者情報通知用

研究課題名：

特発性間質性肺炎合併肺癌患者の内科的治療に関する後ろ向き調査

・はじめに

間質性肺炎は徐々に肺活量が減少し呼吸困難をきたす慢性疾患ですが、しばしば原発性肺癌が合併します。間質性肺炎を合併しない肺癌患者さんと比較して、抗癌剤などの治療では使用禁忌（投与してはいけない）とされる薬剤もあります。手術後や抗癌剤治療、放射線療法中に間質性肺炎が急性増悪を起こし、重篤な合併症になる場合があります。

・対象

このように間質性肺炎に合併する肺癌の病状は複雑で、標準的治療がまだ確立していません。私たちは間質性肺炎の患者さんを多数診療している全国の主要な施設と共同で、群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科において2012年1月1日から2013年12月31日の期間に間質性肺炎合併肺癌と診断した患者さんの臨床データ（喫煙、血液データ、呼吸機能検査、実施された治療内容、その効果判定など）を収集分析し、この疾患の有効な治療法を検索することを目指しています。

本研究に関するさらなる説明をご希望の方、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先まで2018年6月30日までにご連絡下さい。

・研究内容

2012年1月1日から2013年12月31日の期間に間質性肺炎合併肺癌と診断した患者さんの臨床データ（喫煙、血液データ、呼吸機能検査、実施された治療内容、その効果判定など）を収集分析し、この疾患の有効な治療法を検索することを目指しています。

これらの臨床データは通常の診療で過去に記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、群馬大学呼吸器・アレルギー内科においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの

厳格な対策を取り、第三者が個人情報を見ることができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・研究期間

2012年1月1日から2013年12月31日の期間に間質性肺炎合併肺癌と診断した患者さんを対象に研究を行います。研究を行う期間は医学部長承認日より2018年12月31日までとします。

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は間質性肺炎合併肺癌の有効な治療法の開発の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・利益相反に関する事項について

この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・研究機関

厚生労働省難治性疾患克服研究事業びまん性肺疾患調査研究班（びまん班）と日本呼吸器学会腫瘍学術部会を母体とする多施設共同研究

代表研究者：本間栄

（東邦大学大森呼吸器内科教授、びまん性肺疾患に関する調査研究班主任研究者）

研究責任者：岸一馬 虎の門病院呼吸器センター内科、部長

事務局：国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 呼吸器センター内科内
宮本 篤、花田豪郎

105-8470 港区虎ノ門 2-2-2

tel; 03-3588-1111(代表)

fax: 03-3582-7068 (代表)

個人情報管理責任者：宮本篤（虎の門病院）

群馬大学における研究体制

・群馬大学呼吸器・アレルギー内科

診療教授 久田 剛志 (責任者)

診療准教授 前野 敏孝

助教 古賀 康彦

小野 昭浩

原 健一郎

医員 櫻井 麗子

山口 公一

大崎 隆

蜂巢 克昌

齋藤 康之

塚越 優介

鈴木 雅文

内田 恵

梅津 和恵

大島 一真

・群馬大学腫瘍センター

講師 砂長 則明

・群馬大学大学院医学系研究科 がん治療臨床開発学

特任講師 解良 恭一

・群馬大学大学院医学系研究科 臓器病態内科学

大学院生 増渕 裕朗

・群馬大学大学院医学系研究科 病態制御内科学

大学院生 三浦 陽介

連絡先：〒371-8511

群馬県前橋市昭和町3-39-15

Tel：027-220-8145

担当：前野 敏孝